



食環協

2016. 10. 3

ニュース128

●編集 / 発行 公益社団法人食品容器環境美化協会 〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16 田町 K・Sビル 6階 電話 03-5439-5121
ホームページ <http://www.kankyobika.or.jp>

2016年度アダプト・プログラム助成団体が決定しました

食環協では2012年度にアダプト・プログラム活動団体の活動推進、拡大を支援するため「アダプト・プログラム助成制度」を開始しました。2013年度よりアダプト活動の多様性に対応するため10万円助成コースと5万円助成コースの2コースを設定し、本年度におきましても2コースの助成をすることとなりました。

この助成を通じアダプト活動の輪が一層広がり、地域の環境美化につながることを期待しています。

このほど、2016年度の助成団体が決定しました。10万円助成コースは109団体、5万円助成コースは144団体の申請をいただきました。

審査委員会において慎重審査の結果、下記の通り助成することとしました。

■ 申請団体数および助成団体数

	10万円コース	5万円コース	合計
申請団体数	109 団体	144 団体	253 団体
助成団体数	29 団体	40 団体	69 団体
助成金額	2,836,255 円	1,952,192 円	4,788,447 円

各団体の活動内容は当協会のホームページにてご覧いただけます（10月初旬公開予定）



2016 年度助成制度 助成団体リスト (五十音順)

【10万円コース】29 団体

団体名 (正式)	アダプト名称 (上段) 登録自治体 / 部署 (下段)
1 梅美台 3 丁目いきいきライフガーデンクラブ	木津川市アダプト・プログラム 木津川市まち美化推進課
2 えみのわ (市内商店主有志グループ)	大府市公共施設養子縁組制度 (アダプトプログラム) 大府市市民協働部協働促進課
3 大川・佐賀里の会	県民参加の地域づくり事業 長崎県土木部河川課
4 かけ地域環境保全会	みやぎスマイルロード・プログラム 宮城県土木部道路課
5 上横道自治会	信州ふるさとの道ふれあい事業 (アダプトシステム) 長野県建設部道路管理課
6 北野自治会	マイロードサポート事業 山形県県土整備部道路保全課
7 清見町せせらぎ街道を守る会	ぎふ・ロード・プレーヤー事業 岐阜県県土整備部道路維持課
8 社会福祉法人クープ	伊東市公共施設の里親制度 (アダプトシステム) 伊東市建設課
9 佐々川再生の会	河川愛護団体 長崎県土木部河川課
10 さわやかガーデン岩崎	小牧市公共施設アダプト・プログラム 小牧市市民生活部廃棄物対策課
11 城北地区市民協議会	岸和田ファミリーロードプログラム 岸和田市建設部建設管理課
12 NPO 法人庄和ふる里を守る会	アダプト・プログラム実施事業 春日部市市民生活部市民参加推進課
13 新川千本桜の会	八千代市環境美化ボランティア制度 八千代市公園緑地課、コミュニティ推進課
14 住みたくなるまち土器	香川さわやかロード／リフレッシュ「香の川」パートナーシップ事業 香川県土木部道路課／河川砂防課
15 茶郷川環境整備協議会	うるおいの郷土はぐくみ事業 新潟県土木部監理課企画調整室
16 特定 NPO 法人土湯温泉観光まちづくり協議会	ふくしまさいいにし隊 福島市環境部環境課
17 刻の巣	高砂市アダプト推進事業 高砂市健康文化部市民活動推進課
18 八戸市立種差小学校	はちのへクリーンパートナー制度 八戸市環境政策課
19 東花園自治会あゆみ会	大阪アダプト・リバー・プログラム 大阪府都市計画部事業管理室
20 聖ヶ丘子どもおとしより見守り実行委員会	多摩市公園施設等の管理に係るアダプト・プログラム 多摩市公園緑地課
21 富士市松本区自治会	リバーフレンドシップ制度 静岡県交通基盤部河川企画課
22 古川町自治会	ひょうごアダプト 兵庫県県土整備部技術企画課
23 松川湖をきれいにする会	伊東市公共施設の里親制度 (アダプトシステム) 伊東市建設課

団体名（正式）	アダプト名称（上段） 登録自治体 / 部署（下段）
24 松代公園お花の会	アダプト・ア・パーク つくば市建設部公園・施設課
25 美杉台 3 丁目自治会・美風の会	飯能市公園美化活動団体制度 飯能市建設部道路公園課
26 南つくし野自治会	町田市アダプト・ア・ロード事業 町田市建設部道路管理課
27 宮川 水辺の楽校保全会	愛リバーとちぎ 栃木県県土整備部河川課
28 本町愛好会	信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム） 長野県建設部道路管理課
29 行遇町町内会	岸和田ファミリーロードプログラム 岸和田市建設部建設管理課

【5万円コース】40 団体

団体名（正式）	アダプト名称（上段） 登録自治体 / 部署（下段）
1 紫陽花倶楽部	中部公園ボランティア 東員町町民課
2 足立岡公園愛護会	伊勢原市公園愛護会活動推進事業 伊勢原市都市部公園緑地課
3 飯塚道路愛護会	さわやか道路美化促進事業 福岡県県土整備部道路維持課
4 潤井川リバーフレンド	リバーフレンドシップ制度 静岡県交通基盤部河川企画課
5 大池楽生学園	信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム） 長野県建設部道路管理課
6 丘二楠会	枚方市アダプトプログラム 枚方市環境事業部減量業務室
7 岡谷南部中学校	諏訪湖アダプト・プログラム 長野県諏訪建設事務所
8 温泉町美化クラブ 87	マイロードサポート事業 山形県県土整備部道路保全課
9 加木屋南コミュニティ「加南ふれあいの会」	東海市アダプトプログラム 東海市都市建設部花と緑の推進課
10 上春近地区自治会	岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊” 岐阜市市民活動交流センター
11 河内屋きれいにしよう会	小牧市公共施設アダプト・プログラム 小牧市市民生活部廃棄物対策課
12 吉祥寺公園通り商店会	東京ふれあいロード・プログラム 東京都道路管理部路政課
13 木ノ本長寿会	岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊” 岐阜市市民活動交流センター
14 キレイにし隊	磐田市まち美化パートナー制度 磐田市建設部道路河川課
15 クリーンサポート赤坂	マイロードサポート事業 山形県県土整備部道路保全課

団体名（正式）	アダプト名称（上段） 登録自治体／部署（下段）
16 里山環境保全隊	美濃加茂市版アダプト・プログラム 美濃加茂市クリーンパートナー“ピカまある隊” 美濃加茂市建設水道部土木課施設係
17 下町二自治会	みやぎスマイルロード・プログラム 宮城県土木部道路課
18 城東小学校区コミュニティ推進協議会	犬山市アダプトプログラム（里親制度） 犬山市都市整備部道路維持課
19 高瀬ホテルの会	リフレッシュ「香の川」パートナーシップ 香川県土木部河川砂防課
20 滝戸リバーフレンド	リバーフレンドシップ制度 静岡県交通基盤部河川企画課
21 社会福祉法人ダブルエッチエーひまわり	半田市公共施設アダプトプログラム（はんだクリーンボランティア） 半田市企画部市民協働課
22 千曲市若宮区	信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム） 長野県建設部道路管理課
23 対馬川端のれん会	河川愛護団体 長崎県土木部河川課
24 鶴ヶ島市新町一丁目自治会	鶴ヶ島市道路・水辺のサポート制度 鶴ヶ島市都市整備部道路建設課
25 ドリーム会の会	諏訪湖アダプト・プログラム 長野県諏訪建設事務所
26 長崎県佐々町市瀬町内会	河川愛護団体 長崎県土木部河川課
27 長野県林業大学校翌檜寮自治会	信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム） 長野県建設部道路管理課
28 野々市市グラウンド・ゴルフ協会	公共施設管理ボランティア支援（アダプトプログラム）事業 野々市市産業建設部都市計画課
29 はばタンの風	ひょうごアダプト 兵庫県土木整備部技術企画課
30 阪南市立尾崎中学校	アドプト・シーサイド・プログラム 大阪府都市整備部事業管理室
31 社会福祉法人覆育会すぎのこ作業所	しずおかアダプト・ロード・プログラム 静岡県交通基盤部道路保全課
32 別所町町会	いしかわ我がまちアドプト制度 地域連携沿道環境創出事業 石川県土木部道路整備課
33 ボーイスカウト徳島地区協議会	アドプト・プログラム吉野川 吉野川交流推進会議
34 星川湯河原河川防災委員会	河川愛護活動支援事業 長野県建設部河川課
35 ボランティア風と土の会	岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊” 岐阜市市民活動交流センター
36 三ツ和自治会	大和市道路等環境美化活動事業 大和市都市施設部土木管理課
37 みのかも花づくりの会	美濃加茂市版アダプト・プログラム 美濃加茂市クリーンパートナー“ピカまある隊” 美濃加茂市建設水道部土木課施設係
38 みんなの会	上天草市公共施設アダプトプログラム（里親制度） 上天草市総務企画部企画政策課
39 屋形大通り商店街振興組合	アダプション・プログラム 和歌山市民部自治振興課
40 六条緑町三丁目自治会	奈良市アダプトプログラム推進事業（さわやかクリーン奈良） 奈良市市民活動部協働推進課

2016 年度 アダプト・プログラム助成制度【概要】

■趣旨

公益社団法人食品容器環境美化協会は、飲料メーカー 6 団体で構成される公益法人で、飲料容器の散乱対策を中心とした環境美化の推進を事業目的とし、その一環として行政と市民の協働によるまち美化手法である「アダプト・プログラム」のの情報センターとして、普及・推進に取り組んでいます。

市民と行政が協働で進める「アダプト・プログラム」の重要性が全国で広く認識されつつある中、アダプト・プログラムへの新規参加予定団体、あるいは活動を さらに充実、拡大しようとする団体等を助成、支援することにより、アダプト・プログラム活動の一層の奨励を行うとともに、その普及を推進することを目的としています。

■助成の対象団体

(1) 次のいずれかの団体であること

- ①各自治体が導入しているアダプト制度に登録している団体で、アダプト活動を、更に充実、拡大しようとする団体
- ②新たに地域のアダプト・プログラムに参加しようとする団体

(2) この助成制度が設けられている趣旨に賛同するとともに、飲料団体から構成されている食品容器環境美化協会の活動であることを十分認識していること

(3) 過去 2 年間（2014 年度、2015 年度）に当協会の助成受けてないこと

■助成の内容

(1) 助成総額：450 万円（予定）

(2) 1 団体に対する上限助成額と助成団体数：

10 万円助成コース（上限 10 万円）約 20 団体に助成

5 万円助成コース（上限 5 万円）約 50 団体に助成

* 団体数は応募状況、選考状況により、多少変更される場合があります。

(3) 助成申請の対象となる費用：

- ・アダプト・プログラム活動のうち、主として清掃活動およびポイ捨て防止・啓発活動に必要な諸費用とする。（会食費や飲食費、人件費は対象外）
- ・2016 年 4 月～2017 年 3 月に支出される費用が対象

■スケジュール

4 月 14 日（木）	募集開始
6 月 24 日（金）	申請締め切り
9 月 1 日（木）	助成団体発表
10 月 3 日（月）	助成金支払い
3 月	活動報告書の提出

* 2017 年度の助成制度については 2017 年 4 月中旬にホームページ等でお知らせします。

2015年度アダプト助成対象団体紹介

昨年度は10万円コース27団体、5万円コース42団体、合計69団体が助成対象となりました。ご参考にその活動の一部をご紹介します。

【10万円コース】

アダプト・リバー・原川

大阪府アダプト・リバー・プログラム／大阪府都市計画部事業管理室

昔のようにホタルが飛び交う原川に戻したいと地域の住民ボランティアが月に1回集まり原川の河川清掃及びポイ捨て防止等を目的として活動を行っている。発足当時10人ぐらいの参加者が今では28名が参加。今後もボランティ

ア活動の人を増やし、きれいなホタルの飛び交う川にしたいと思う。(現在、上流では数匹のホタルが戻ってきた。)ユニフォームの色をそろえる事で地域の方にも目に入り、啓発活動につながることを期待している。



特定非営利活動法人 新町川を守る会

アダプト・プログラム吉野川／吉野川推進交流会議事務局

平成2年に「自分たちで汚した川は、自分たちの手で再生しよう!」と有志10人で発足。今年で26年目を迎える。河川の清掃をはじめ、吉野川の上下流の交流、吉野川河川敷におけるアダプトなどに取り組んでいる。今後も「できる人が、できる時に、できることを」を基本に活動の輪を広げていきたい。参加者はアダプト区内のごみを1時間程度集め、集めたごみは当会の小船に乗せ、10km先にある両国橋袂北側まで運び、契約しているごみ収集専用業者に取りに来てもらっている。なお、活動が終わっ

た後は全員に手作りのうどんを食べてもらう。雨が降っても実施している。長期間継続して毎月1回ごみ拾いをしているため、ごみが少なくなってきた住民がごみを捨てにくくなってきており、今後も継続することは環境美化につながります。今後、グループの参加の増加により費用の増加を余儀なくされるが、助成によって軍手やごみ回収袋を調達することができる。のぼり旗を掲げるにより、参加者の環境意識がより一層高まると共に辺住民に対する環境教育についての啓発につながる。



[5万円コース]**やまもも通りの会****光市環境美化ボランティア・サポート制度／光市地域づくり推進課**

平成19年に自治会関係の有志が集まり、駅裏通りの清掃を行うことを決め、光市へ環境美化ボランティア・サポート事業として団体登録した。公園や道端などの公共空間へのごみのポイ捨てや不法投棄は依然として後を絶たないため、住民が担い手となり、快適な都市空間を維持して行くことを目的に活動を行っている。光駅の北側のやまももの街路樹が植えられた道路は、周辺住民の通勤や通学道路として日頃利用されている。駅の北側には、駐車場や駐輪場が

あり、飲料用の容器のポイ捨てが目立つ場所である。小学生も通学時にごみ拾いの運動も行っており、住民による住民の交流を兼ねた主体的な環境美化をより一層推進して行く必要がある。今回の助成で、やまもも通りの会のメンバーが、ユニフォームを着用して清掃することで、多くの人への清掃美化活動への啓発になり、清掃するメンバーの励みにもなり、美化活動の広がりに貢献できる。

**龍ヶ崎の水辺を親しむ会****龍ヶ崎市公共施設の里親制度／龍ヶ崎市市民協働課**

牛久沼を水源とする河川「江川」佐賀地区約1200mの里親として、河川の中や川沿いのごみを拾い、除草作業、水質浄化等を行っています。散歩や通行する人たちに挨拶を行い、また環境フェア、市民活動フェアに参加し川のこと、ボランティア活動を知っていただき、環境保全

の活動の輪を広げています。販売されている用具では川の中のごみ拾い、除草作業に手が届かず作業が進まないため、川に合わせた用具を作成するために必要な部品の購入し、ごみの拾い残しを無くしたい。この美化活動が広がり市民が自主的に環境保全を行うように呼びかけたい。



公益社団法人食品容器環境美化協会について



美しい環境を明日へ

食品容器環境美化協会（略称 食環協）は、飲料 6 団体で構成されている公益社団法人です。1973（昭和 48）年に飲料メーカー団体が集まって設立され、以来約 40 年にわたって飲料容器の散乱防止と環境美化のため「まち美化アダプト・プログラム」「環境学習支援」「散乱防止啓発」などの事業を展開しています。

事業の一環として 1998（平成 10）年から、市民と行政の協働によるまち美化活動である「アダプト・プログラム」の普及推進を行っています。

飲料自販機などでおなじみの「のんだあとはリサイクル」という緑のマークは「統一美化マーク」といい食環協のシンボルマークです。

【会員団体】

- 一般社団法人全国清涼飲料工業会 ●一般社団法人全国トマト工業会 ●一般社団法人日本果汁協会
- 日本コーヒー飲料協会 ●コカ・コーラ協会 ●ビール酒造組合

アダプト・プログラムとは

「アダプト・プログラム」は市民と行政が協働で進める「まち美化プログラム」です。

アダプト（ADOPT）とは英語で「〇〇を養子にする」の意味。

一定区画の公共の場所を養子にみたと、市民がわが子のように愛情をもって面倒をみ（＝清掃美化を行い）、行政がこれを支援します。

市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めます。

現在では全都道府県の各地で導入され、多くのアダプト団体が様々な活動をされています。

